



すべての子どもに自転車に乗る楽しみを。

CHAINRING PROJECT
for KIDS

子どもたちの遊び場をつくろう！

大作戦

1st. step

石巻

東日本大震災 被災地支援プロジェクト

「CHAINRING PROJECT (チェーンリングプロジェクト) FOR KIDS」

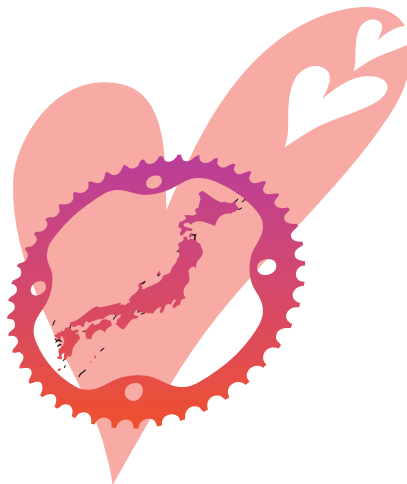
※CHAINRING：自転車の部品。人間の力を後輪に推進力としてつなげるための構造。
「つながり」や「絆」、「前へ進む」意味をイメージする言葉として使う。

子どもたちの遊び場をつくろう！大作戦

このプロジェクトの目的

自転車は単なる移動手段としてではなく、遊びやスポーツ、サイクリングなど様々な楽しみかたの出来る乗り物。動力を使わず、自分の力だけで進む乗り物。そんな自転車の乗り方を学び、遊べる機会を通じて、子どもたちに自分自身の可能性を今よりもっと感じてほしい。特に、東日本大震災の被災地の子どもたちには「自転車を楽しむこと」を通じて、少しでもたくさんの勇気や元気を持つきっかけにできるような、自転車の遊び場をつくりたい。

そんな願いを込めて、単なる自転車の乗り方教室ではない新しい価値観を体感できるサイクリングスクールのノウハウを使い、「子どもたちが安全に遊べる場」を提供するため、様々なネットワークの整備や、この活動を継続していくための基盤をつくることを最終的な目的とします。



自転車を愛するすべての人たちとともに、子どもたちに笑顔をとどけたい。



プロジェクトの概要

このプロジェクトでは、子どもたちへの支援として

- 自転車での「遊び場」の提供
- サイクリングスクールの継続的な開催
- 自転車を通じた子どもたちへの「夢」の提案

などを実現するために、

- 「遊び場」の維持やスクール開催のためのスタッフの育成と支援
- 被災地への協力体制など、情報ネットワークの確立
- プロアマを問わず、サイクリストが協力できる体制

を構築していきます。

具体的には、下記の様なかたちでソフトとハードの両面からの支援を行います。

全国で開催されているウィーラースクール^(※)のメソッドを活用した自転車教室を軸にそれを継続的に開催するために、それぞれの地域の支援者に対する指導者講習会を実施し、実際に子どもたちを指導するノウハウを提供、自転車の遊び場の安全管理などを支援する。

ソフトの支援

(※) ウィーラースクールについては次項

実行ネットワーク構築のための
IT 環境

講師となるトップアスリート

地域の
ボランティアスタッフ

ネットワークの構築

遊び場となる場所探し

物品、サービスなどの協賛企業

全国のサイクリスト有志

子どもたちが自転車に乗れる「自転車の遊び場」の環境を整備するために、カリキュラム用機材（自転車を含む）などの支援を拡充します。

ハードの支援

ウィーラーズスクールの内容

- ・自転車の知識（歴史、社会的役割など）
 - ・交通ルールとマナー（安全のための知識と思いやりの心）
 - ・自転車操作技術の向上（技術的に子どもたちを事故や怪我から守る）
 - ・自転車のメンテナンスを学ぶ（自立したサイクリストへ育成）
 - ・子どもたちのあこがれになる、国内外のトップアスリートとの交流
- なにより地元をサイクリングすることで、自分達の町に愛着を持ってもらう。

<スクールの実例>

ウィーラーズスクールは、技術講習だけでなく自然の中のサイクリングなどを、
全国で開催しているボランティアで構成されたネットワーク。

詳細はホームページを参照 <http://cyclingschool.jp/>





すべての子どもに自転車に乗る楽しみを。
CHAINRING PROJECT
for KIDS

子どもたちの遊び場をつくろう！大作戦
1st. step 石巻

プロジェクトの実現に向けて

このプロジェクトを実現するためには、多くの方々の支援と協力が必要です。特に被災地の外にいる方々の協力は欠かせません。地元の皆さんは震災復興で本当に疲弊されています。いかに省力化し、効率良く効果的に子どもたちに支援の輪を広げていくかが最大のポイントとなります。

そのためには、この活動に賛同する方々がたやすく現状を把握できるインターネットを介したネットワークシステムを準備する必要があります。

その最初のポイントとして、現在すでに被災地で子どもたちのための自転車支援を行っているグループのみなさんとの連携を密にし、その実情やノウハウを共有し、その活動が広範囲で実現出来るように具体的な動きとすることが求められます。

実現に向けてのマイルストーン（予定）

4月：被災地での情報交換会
(現地サイクリスト、ボランティア団体など)

暫定支援体制の整備（サイクリスト、行政、企業、団体など）

4月～5月：被災地（場所は未定）で、試験的に「自転車の遊び場」づくり
をスクールイベント通じ開催し、現状の調査及び検証

6月～7月：問題点を整理して継続開催のシステムをプロジェクトチームで
協議、具体的な立案

8月以降：支援活動の本格稼働

を目指します。

プロジェクトの実現に向けて

このプロジェクトを実現に向かわせるために、まずは多くの方と協力していく体制が必要です。特に人的、物的、経済的な協賛、協力は欠かせません。

特に子どもたちが楽しく感じてくれるようにするには、おおざっぱな扱いではなく、ひとりひとりに対しての細かなケアが必要な支援となり、そのためには本当に多くの方々とのネットワークづくりが急務です。

例えば、資材、機材の支援をしていただく企業、連絡網を整備するためのネットワークを構築するための支援は、効率よくかつ効果的に被災地への支援を行うのに必要なインフラとなります。

そしてなにより子どもたちと相対するサイクリスト、特に子どもたちの夢でありあこがれとなるトップアスリートや著名な方々の協力も欠かせません。

ひとりでも多くの皆さんにこの企画意図をご理解いただき、ともに進めていけたらと考えています。

お問い合わせは、メールでお願いします。

CHAINRING PROJECT for KIDS

チェーンリングプロジェクト・フォー・キッズ 準備室

ウィーラーズスクールジャパン事務局

担当：ブラッキー中島隆章

info@cyclingschool.jp